

都市再生整備計画(第9回変更)

ひ み ち く だい き
氷見地区(第3期)

と や ま け ん ひ み し
富山県 氷見市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	氷見市	地区名	氷見地区(第3期)	面積	355	ha
計画期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度	
					交付期間	令和	元	年度
						～	令和	5
								年度

目標

大目標:「氷見の人々の暮らしを豊かにし、氷見を訪れる人々を温かく迎え、それぞれの活動がまちなかで重なり合う」まちづくり

- 目標1 市の発展を牽引するにぎわいのまちづくり
- 目標2 多世代において魅力があるまちなか居住環境の形成
- 目標3 市内外の交流と活力創造の核となるまちの顔づくり

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。

先人が長い歴史の中で築き上げてきた市街地を基本としながら、原則、市街地をこれ以上拡大することなく、市街地の外側に広がる農地等の自然環境の保全を図りながら、人口減少・少子高齢化社会の中でも、機能性・安全性・利便性の高い持続可能な都市構造を目指す。
市街地については、商業・医療・福祉・文化など都市的生活の利便性を享受できるよう、サービス水準の維持に努めながら、一定の人口密度の維持を目指す。
また、市街地の空間資源(公共空地等)を活用して魅力ある都市機能の誘導を図り、子育て世代が安心して快適に暮らせる居住空間の形成を目指す。
これと並行して、少子高齢化社会の中において、過度に車に依存することなく、車を利用できない高齢者等にとっても、徒歩や公共交通を利用し市内を円滑に移動できるよう、公共交通の利便性向上を図り、安心・快適に暮らし続けられる持続可能な都市構造を目指す。

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、古くから交通や物流の要衝地として栄え、氷見の中心市街地として発展を遂げてきた。しかし、郊外型大型店の進出や生活基盤整備の遅れ等により、定住人口が減少傾向を示し、また、国道415号沿いの中心商店街には空店舗や移転後の空き地が目立ち、かつての賑わいが失われつつあった。市では、氷見の鮮魚や点在する集客拠点の活用により、観光誘客に取り組んできたが、観光客は立ち寄り型の利用がほとんどで、市街地への波及効果が少ない現状にあった。
このため、まちなかの定住促進と来訪者の増加による賑わい創出を目指し、都市再生整備計画事業等により、街路整備やポケットパークの整備をはじめ、潮風ギャラリー、ひみ番屋街、総湯等、多岐に渡る整備を実施し、観光客の増加や賑わい創出に一定の効果がみられた。
しかしながら、その後も市街地の居住人口の減少や高齢化、若年層の郊外流出に歯止めがかからず、さらに、市庁舎や市民病院、朝日丘小学校が移転したことに伴い、公共遊休地が存在し、中心市街地の空洞化が顕著となってきた。また、ひみ番屋街への来館者の市街地への波及も限定的なものであった。本市の流域山間部と市街地は、古くから相互補完関係にあり、交流により本市の都市空間が形成されてきた。中でも市街地は、本市全域の活性化を牽引する役割を担っており、今後も本市が将来に向けて持続的に発展していくためには、都市の成長を支える市街地の再生・活性化が必要となっていた。
こうしたなか、平成27年に、「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、基本目標の一つに「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」を掲げ、暮らし続けられる地域社会を実現する都市空間設計として様々な施策を位置づけている。
こうした動向や本市の市街地の現状を踏まえ、本市を持続的に発展させる方向性や人口減少社会にあっても豊かに暮らせるライフスタイルを展望した市域全体の中長期の都市空間戦略を描く必要性から、平成29年度に市街地ランドデザインを策定した。ランドデザインでは、4つの公共空地の活用の方向性を含む都市デザインや都市マネジメントの基本的な考え方を取りまとめており、まちなか市街地の基本方針として、既存の資源とアクセス性を踏まえた「まちなか形成軸」を位置づけ、賑わいと魅力づくりの骨格を形成するとしている。

課題

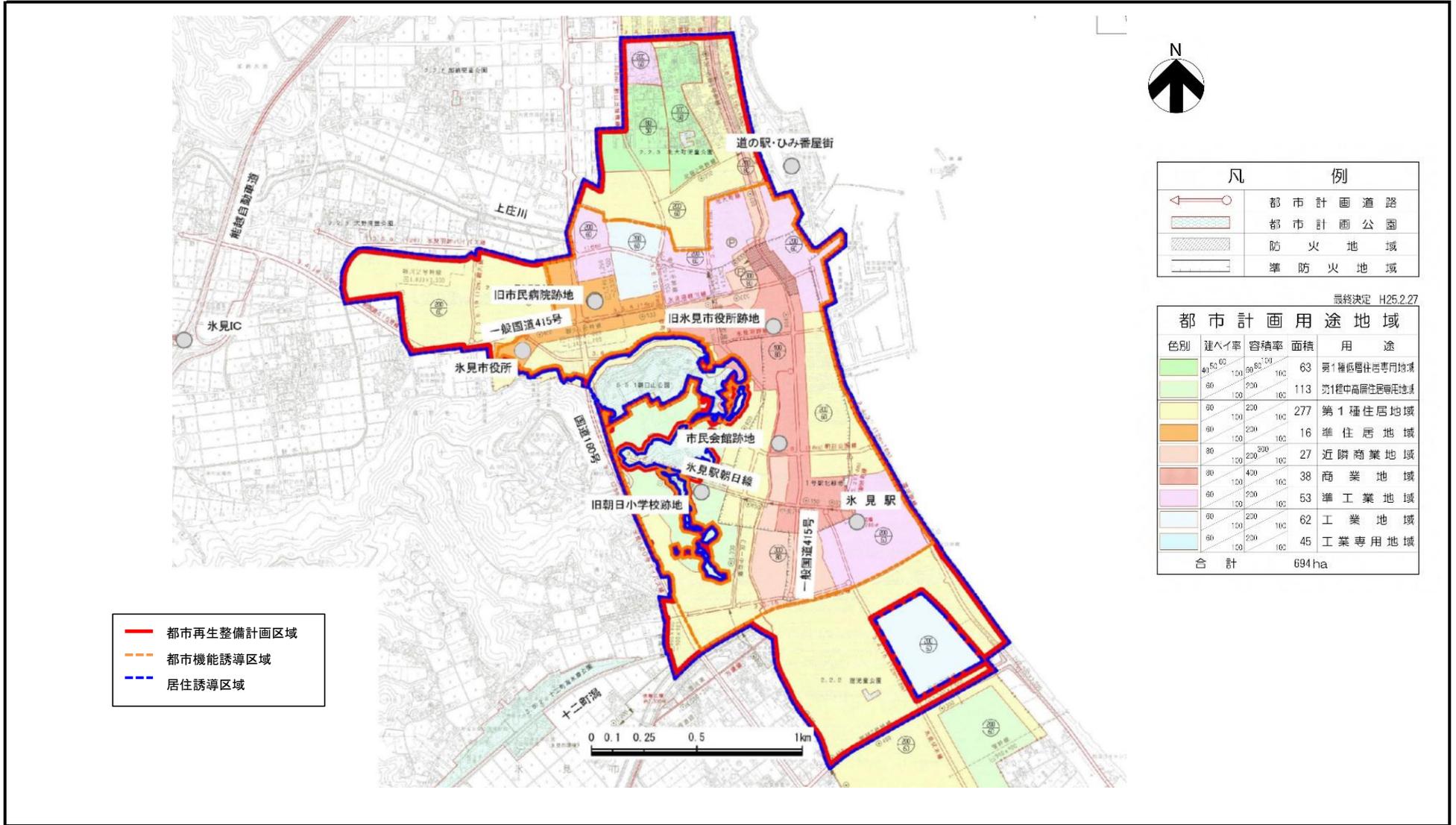
- 1 中心市街地の魅力形成と都市活力の向上
氷見市の顔にふさわしい魅力ある景観形成をはじめ、商業・業務・交流等の多様な機能の誘導・集積や快適な居住環境の形成、交通の利便性向上等により、中心部としての魅力・活力向上を推進する必要がある。
- 2 「まちなか定住」につながる住まい・子育て支援環境の形成や雇用の創出、生活利便性の向上
医療・福祉・子育て機能の充実や定住を促す市街地の魅力向上、新産業の創出、利便性の高い都市機能の誘導・集約化等を推進する必要がある。
- 3 まちなかへの誘客や回遊性の向上
氷見市を訪れる観光客を市街地中心部まで呼び込み、回遊させるためのしつけや仕組みづくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 第8次氷見市総合計画(平成24年度～平成33年度)
商店街等の個店の魅力向上や本市固有の歴史や文化を生かしたまちなみの整備等により、ゆったりと散策を楽しめる場所、にぎわいがあり楽しく買い物のできる場所、人が安心して住み・交流できる場所としての中心市街地の活性化を図る。
- 氷見市都市計画マスタープラン(平成16年～平成37年)
中心商業地は、商業施設、娯楽、保健、福祉、教育、文化などの都市的な機能が沿道に立地し、住環境と調和した地域環境を形成していくべき地域と位置付ける。
- 氷見まちなかランドデザイン(平成30年～)
7つの流域沿いに形成された集落と相互補完関係にある交通結節点として、氷見市全域の活力を牽引するエンジンとなる「まちなか市街地」と位置付ける。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1. 中心市街地の魅力形成と都市活力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通条件を活かした広域的利用圏と新文化施設の建替えを踏まえた、文化交流・創造の拠点の形成 ・日常的な利用や観光客の利用を踏まえた、まちの玄関口となる空間の形成 ・沿道の土地活用の促進や景観づくり、緑化等により、シンボルロードとしての魅力と活力のある街なみの形成 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみ文化交流プラザ周辺ストリートファニチャー整備(高質空間形成施設) ・水見駅前広場整備(地域生活基盤) ・水見駅前日線道路照明整備(高質空間形成施設) ・ひみ文化交流プラザ整備(高次都市施設) ・避難所等の非常用電源施設(地域生活基盤) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみ文化交流プラザ周辺街灯機能向上(地域創造支援事業) ・地域住民避難所整備(地域創造支援事業)
<p>2. 「まちなか定住」につながる住まい・子育て支援環境の形成や雇用の創出、生活利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然・文教環境に恵まれた保育・幼児教育施設のある子育て支援の拠点の形成 ・図書館、博物館と連携した、市民交流と誘客を推進する水とみどりの憩い空間を形成 ・居住誘導区域内の低未利用地(空き家空き地)の利用に向けた行政の能動的な働きかけの実施 ・居住誘導区域内の空き家や空き店舗を有効に活用し、居住誘導を行うことで、地域コミュニティ維持及び再生 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみ発見館広場整備(地域生活基盤) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか居住誘導事業(地域創造支援事業) ・空き家利活用促進事業(地域創造支援事業) ・子ども発達支援施設整備(地域創造支援事業)
<p>3. まちなかへの誘客や回遊性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客をまちなかに誘い込む、まんがをテーマとしたまちなか回遊拠点の形成 ・ひみ番屋街の集客を商店街方面に引き寄せるため、まんがのまちづくりを行い、歩いて楽しい商店街の魅力づくりの実施 ・使いやすいまちなか交通や歩きやすい市街地環境とするためまちなか交通システムと回遊動線の確保 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画キャラクターモニュメント設置(高質空間形成施設) ・キャラクター案内板設置(地域生活基盤施設) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんがキャラクター壁画(地域創造支援事業)
<p>その他</p>	

<p>氷見地区(第3期)[富山県氷見市]</p>	<p>面積 355 ha</p>	<p>区域 朝日丘(一部)、朝日本町(一部)、伊勢大町1丁目、伊勢大町2丁目、大野新(一部)、北大町(一部)、鞍川(一部)、湖光(一部)、幸町(一部)、地藏町、諏訪野(一部)、中央町、比美町(一部)、本町、丸の内、南大町、栄町(一部)、窪(一部)</p>
--------------------------	------------------	---



凡 例	
	都市計画道路
	都市計画公園
	防火地域
	準防火地域

最終決定 H25.2.27

都市計画用途地域			
色別	建ぺい率	容積率	面積
	40/50/60	100/150/200	63
	60	100	113
	60	200	277
	60	100	16
	80	200	27
	80	400	38
	60	100	53
	80	100	62
	60	200	45
合計			694ha

	都市再生整備計画区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域

氷見地区(第3期)[富山県氷見市] 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 「氷見の人々の暮らしを豊かにし、氷見を訪れる人々を温かく迎え、それぞれの活動がまちなかで重なり合う」まちづくり	代表的な指標	市民満足度 (%)	82	(H28年度)	→	87	(R5年度)
			居住誘導区域内の人口密度 (人/ha)	32	(H30年度)	→	32	(R5年度)
			国道415号の歩行者数 (人/日)	373	(H28年度)	→	750	(R5年度)

